

文星芸大附

now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話 (028)
636-8000 (中学直通)
636-8585 (高校直通)
発行
「文星芸大附 now!」
編集係

上野秀文先生を偲んで

学校法人宇都宮学園理事長
上野 孝子



時が経つのは早いもので、前学校法人宇都宮学園理事長・宇都宮学園高等学校長で

おられました上野秀文先生がご逝去され、10年という月日が流れました。私も先生亡き後直ぐに、学校法人宇都宮学園の理事長と、宇都宮文星短期大学長の就任を理事会より

言い渡され、秀文先生の意志を継ぐべく、微力ながらも現在まで学園発展のために尽力している次第です。

意志を継いで学校の経営にあたる傍ら、残された家族の面倒を見、東京の早稲田大学にも進学されました。学生として勉学に励みながらの学校経営には、幾多の苦難もありましたが、持ち前の根性と精神力で乗り切り、大学卒業後は現在の学園の礎を築かれたのでした。

當時はまだ戦時中であり、慈光寺の近くにあった宇都宮女子商業学校は、空襲によって校舎が焼け落ち、一の沢にあった宇都宮学園の校地へ移ることとなりました。そして宇都宮学園の方は日本軍の兵舎のある睦町へ移り、そこで授業を再開したのでした。宇学の生徒一人一人が、一の沢から校舎のある睦町まで自分の机を担いで運び出し、長い行列ができた様子を、私は大変よく覚えております。兵舎を

「文星芸大附 now!」は、平成十七年四月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせ発行されました。

した英進科が設けられました。そして今年度は長年の念願であった中高一貫の附属中学校も開学し、現在学校法人全体で5つの学校を経営する一大学園へと変化を遂げました。これもひとえに秀文先生が私学教育に邁進された努力の賜物と感謝しております。

秀文先生は、明治維新で活躍した勤皇の志士たちを非常に尊敬して、その遺墨(現在は上野記念館に収蔵)に接するのを好まれていました。このことが、教育者としても経営者としても時代の先端を行く思想を生み出し、全てにおいて全力投球の姿勢に繋がっていたのではないでしょう

うか。また、真面目で几帳面な性格は仕事の面にも表れておりましたが、人に対する優しい心、温かい心は終生秀文先生の宝でした。そんな先生を学校職員一同、そして上野家の家族全員が敬愛しておりました。

18歳で父親と死別して以来、並々ならぬ苦勞のすえ、自ら創りあげた前学校法人宇都宮学園なので、宇学に対する思

いは熱いものでありました。

ことさらに野球を愛し、甲子園出場9回という名誉を勝ち取り、その都度甲子園へ向うき喜びの歓声を上げておりましたので、この秋の県下大会で野球部が優勝したことは、天国でも大変お喜びになっていたことでしょう。先生のためにもぜひ関東大会で活躍し、春の甲子園大会に出場できることを心より願っております。

秀文先生のお姿を思い浮かべると1m70cmの身長、70kgの風貌は、日本人らしい面長で、目が大きく、口元の優しい人でした。歩く時は早足で並んで歩く相手の人には困難でした。式典で壇上に上がるお姿はとも堂々としており、式辞は簡潔明瞭で声は朗々とされており、聞く生徒たちは常に尊敬の眼差しを向け話に聞き入るものでした。現在、壇上にそのお姿が見られないことは、真に残念なことです。男らしい男。人間らしい人間。

そして愛情深い人物である秀文先生に対しての思いは、私の心の宝として胸の奥へしまっておりま

す。校訓の三敬精神と共に秀文先生の教えは私たちの誇りです。教職員の皆様、生徒の皆様、創立者上野安紹先生と共に、二代目校長上野秀文先生の遺徳を末永く後世に残しましょう。

中学校行事予定

11月
4日(金) ベネッセ学力推移調査
6日(日) 学校祭(雄飛祭)
7日(月) 入学式
12月
3日(金) 第1回入学試験
7日(月) 学年成績会議(授業4校時)
16日(金) 第2学期終業式
21日(月) 第2学期特別行事
26日(月) 冬期講習(午前中)
1月
7日(日) 第2回入学試験
10日(水) 第3学期始業式
11日(木) 課題整理テスト
18日(木) 第3回入学試験
2月
4日(日) 日本数学検定
16日(月) スキー教室
18日(水) 予備式・予備会
24日(金) 授業参観・英語・レジャー
30日(金) ショッピング・保護者懇談会

高校行事予定

11月
5日(土) 学校祭(雄飛祭)
6日(日) オープンキャンパス
17日(月) 1年生保護者懇談会
19日(水) 美術・デザイン実技体験
27日(金) P.T.A.支部長会・P.T.A.懇談会
12月
1日(土) 期末考査
3日(月) 3年保護者懇談会・美術・デザイン実技体験
12日(月) 査定準備学年会(授業4校時)
22日(水) 学期末特別行事
23日(木) 第2学期終業式
1月
12日(水) 第3学期始業式
13日(木) 前期入学試験
20日(木) 漢字テスト
24日(月) 修学旅行(オーストラリア・沖縄)
21日(土) トリアス・沖縄
2月
21日(月) 3年卒業試験
23日(水) 3年卒業試験
25日(金) 3年卒業試験
3月
2日(土) 後期入学試験(生徒臨時休校)
6日(月) 1年進路テスト
14日(水) 卒業査定会
18日(日) 新入生1日入学
22日(木) 予備式・予備会
28日(金) 3年修業式(同窓会入会式)

第三回雄飛祭『絆』開催

第三回雄飛祭が十一月五日(土)、六日(日)、開催されることとなりました。今年度のテーマは、『絆』。四月から新たにスタートした文星芸大

附属中学校と共同開催と言うことで、文星の名のもとに二校がますます絆を深め、ともに発展していこうという思いをこめて決定されました。

各団体は、校舎内はもちろん、校庭、中庭を利用しての飲食店(やきそば・綿アメ・たこやき・クレープ・だんご等)や模擬店、そして特設ステージでの音楽演奏やダンスなど各団体が趣向を凝らして出店します。

六日(日)が、一般公開となりますので、ぜひとも来校いただきますよう宜しくお願い致します。

【雄飛祭開催にあたって】

中学校 生徒会会長

横山 昂司(一一)

今年僕たちの中学校が開校しました。僕たちにとっても、この文星芸大附属中学校にとっても、初めての雄飛祭です。

これまでのクラスは、ただの仲の良いクラスという感じでした。みんな仲はいいけど団結力に欠けていました。しかし、この雄飛祭という一つの目標ができクラスが変わってきました。



昨年度の様子1

この雄飛祭のテーマは『絆』です。別々の小学校から来たみんなが、この文星芸大附属中学校で出会い、一つの目標に向かっていこうという、今の僕たちにとってびったりのテーマだと思います。

これまで一人一人が別々の方向を向いていた僕たちでしたが、この雄飛祭をきっかけに同じ目標に向かって進んでいこうとしています。僕たちの絆は深まり、今まさにクラスが一つに団結しようとしています。高校生の先輩方のすばらしい企画に負けないように、僕たちも精一杯全力を尽くしたいと思います。

本校は、校名変更と時を同じくして、学校祭『雄飛祭』も開催される運びとなり、今年で三年目を迎えました。過去二回のテーマは、「未来」「架け橋」と夢や希望を感じさせる新しい校名にふさわしいものでした。それに続く今年のテーマはもう一歩前進し、人と人との繋がりを大切にし、みんなで協力し合って『雄飛祭』を盛り上げ、生涯忘れることのない大切な思い出にしたいといった気持ちから、『絆』というテーマに決めました。私たち生徒会役員をはじめ、実行委員の面々もお互いの『絆』を確かめ合い準備をしているところです。先生方の協力を頂きながら進めています。実行委員の人数が少ないので、何をすることも大変な状況です。『雄飛祭』当日となる十一月五日、六日の両日までにはもう少し日がありますので、協力頂ける方はぜひ実行委員に名乗り出て下さい。



昨年度の様子2

私たち、毎日遅くまで作品作りに頑張っているようです。中学棟は中学生の作品展示だけでなく、高校の英進科も出展(出品?)を予定していますので、ぜひ校舎の見学を兼ね足を運んで下さい。

各種検定取得状況			
☆全国漢字能力検定☆			
二級	藤原光一郎	一級	藤原光一郎
準二級	芳賀 祥明		
橋本 広視	村松 顕正		
☆全商英語検定☆			
一級	藤原光一郎		
☆実用英語検定☆			
二級	田代 直也	一級	飯島 健太
手塚 佑一	久保 孝史		
準二級	古川 昭博		
橋本 広視	島影 歩		
清水 一樹	和田竜太郎		
宮澤 辰弥	秋山 剛志		
山本 匠	渡邊 和之		
村松 顕正			
☆全商簿記検定☆			
一級	海賀 美房	二級	磯 勇士
二級	荒牧 龍一		
佐藤 将史	清水 拓磨		
清水 規崇	篠崎 裕介		
二級	荒牧 龍一		
☆全商ワープロ検定☆			
一級	佐藤 将史		
清水 規崇	篠崎 裕介		
二級	荒牧 龍一		
☆全商簿記検定☆			
一級	海賀 俊文		
二級	石田 祐希		
☆日本情報処理検定☆			
一級	木村 祐介		
二級	添谷 博人		
☆全商電卓検定☆			
一級	藤原光一郎		
池田 恭典	飯島 健太		
海賀 美房	加部 喜亮		
菊池 真人	木村 祐介		
暮林 和真	小林 祐介		
佐藤 将史	三谷 逸		
江田 友祐	丹羽 啓介		
福田 浩之			
☆全経電卓検定☆			
一級	飯島 健太		
大宮 和也	加部 喜亮		
菊池 真人	木村 祐介		
暮林 和真	小林 祐介		
清水 規崇	蓮 忠幸		
星野 駿	吉田 友之		
二級	磯 勇士		
飯村 明成			
☆日商簿記検定☆			
二級	暮林 和真		
☆日本情報処理検定☆			
一級	木村 祐介		
二級	添谷 博人		
☆全商簿記検定☆			
一級	海賀 俊文		
二級	石田 祐希		

文星芸術大学附属高校のコース紹介

― 本校の特徴のあるコースを紹介します ―

普通科総合コース 授業名 「自動車整備」

普通科総合コースには、二次における学校設定科目、そして三次における総合学習の時間の一環として自動車整備の実習授業が設置されています。

昨年より始まったこの授業は生徒からの人気や関心も高く、希望生徒の増加にともない今年度新たに第二自動車整備棟が作られました。実習車には生徒からの人気が高いスカイラインやクラウン、RX-7などがあり、生徒は五、六人が一



実習風景 1



実習風景 2

グループを組み実習に当たります。実習内容は簡単な自動車メンテナンスから専門学校への進学にも役立つエンジン・シャーシの基礎実習やアーク溶接、フォークリフト作業資格・危険物取り扱いなどの資格取得にもチャレンジしていき、真剣に取り組んでいます。



この授業が将来の進路選択に大きな役割を担っています。

総合ビジネス科 授業名 「総合体験」

総合ビジネス科サービスビジネスコースでは、校外活動を中心とした様々な体験のもと豊かな人間性と生徒の自発性を生み出し、将来の職業観念を養うことをねらいとした総合体験授業が実施されています。

生徒は職場体験（会社見学・販売実習）やボランティア体験など様々な体験を通してビジネスマナーやコミュニケーション能力を養い、さらに郷土文化の理解やスポーツなどの多彩な実習体験も行われています。



東武百貨店にて

主な体験活動

- ・福祉体験
（特別養護老人ホーム梅の里）
- ・会社見学
（キリンビール株式会社）
- ・そば打ち体験
（道の駅 伊王野）
- ・キャストウォーク（自然散策体験）
（ツインリンクもてぎ）
- ・座禅体験（喜連川 瞑想の森）



ツインリンクもてぎにて



種子島・屋久島研修

インターアクト部

インターアクト部の種子島・屋久島研修旅行が七月二十五日（月）から二十七日（水）、三日間の日程で鹿児島県の種子島・屋久島において開催された。本校からは、インターアクト部の二年生二名と一年生二名が参加した。

「種子島・屋久島研修旅行」

普通科二年 大川雅大 去る七月二十五日（月）から二泊三日の行程により、鹿児島県の離島である種子島並びに屋久島に、この度インターアクト部の研修旅行として参加した。台風七号の影響が心配であったが、運良く天候に恵まれとても有意義な研修旅行となった。

今回の参加にあたり、ほかのインターアクト部との交流・ふれあいや、種子島・屋久島の味わったことのない自然を体感することを自分のテーマとして臨み、今はその達成感で充実している。

三日間の研修旅行で一番辛かったことは、鹿児島

から種子島へ向かう小型船『トッピー』が途中故障し、会場で約一時間三十分ほど停船したことである。そこで船がすごく揺れとても気持ちが悪くなった。乗船していたほとんどの人が体調を悪くしていた。二度と体験したくないことである。

しかし、良い思い出もある。島の方々が親切であった。特にバスガイドさんやホテルの関係者の方々が非常に親切であったことが印象深い思い出になった。

三日間は長いようで短い研修旅行であった。また機会があれば一人でも訪れた魅力秘めている所であった。



屋久島にて

「一体験学習(中学生対象)の報告」 —二日間合計で四九七名!の参加者—

八月二十日(土)に、宇都宮・河内地区中学校対象、

八月二十一日(日)には県内全般の中学校対象の一体験学習が本校において行われた。二日あわせて、四九七名の中学生が英進科、普通科、総合ビジネス科の「模擬授業」を体験した。

英進科では、「国語」の授業の体験ほか、本校独自の「進路学習」の授業を体験し、将来を考える貴重な時間を過ごした。

普通科進学コースでは、カナダ人教師による「英会話」の授業が行われ、初めは緊張した面持ちで参加していた生徒たちも、授業が



自動車整備の授業体験



英会話の授業体験

進むにつれ、会話が弾むようになり、和やかな雰囲気

で終了した。

普通科総合コースでは、「自動車整備」の授業の人氣が高かった。「二柱リフト」という装置を用いて自動車を持ち上げ、普段見ることができない車の下側を眺めながら、車の構造について説明に熱心に耳を傾けていた。また、「ゲーム/CG(コンピュータグラフィックス)」の授業では、それぞれ個性あふれるデザインのうちわを作成した。

初めてつくるうちわに生徒たちは楽しんでいった。また、「スポーツ」の授業では、ミニバスケットとフットサルのチームに分かれて、本校の生徒とともに汗を流した。はじめのうちは、動きに硬さが見られたが、ゴールを目指して一生懸命プレーするうちに、最後にはたくさんのさわやかな笑顔をみることができた。そして、「調理」の授業では、生徒全員でカルボナーラを短時間にも関わらず、楽しそうに作っていた。普通科美術デザインコースでは、ソフトパステル作りを行った。顔料(色の粉)とでんぶんのりを混ぜて、ペースト状にしてパステルを作った。生徒は手にいろいろな色をつけながらも、経験したことのないパステル作りを楽しんでいた。生徒達にとっても楽しんで取り組んでいた。



総合ビジネス科の授業体験

いた。

総合ビジネス科の授業では、コンピュータを使って、図形の作成を行った。難しい課題でありながらも、生徒は熱心に挑戦していた。

今、各分野において新しい風を巻き起こしている本校でたくさんの生徒と触れ合い、進路決定に向けて充実した時を過ごすことができた。



文星芸大附校と 宇都宮大学の 高大連携科学講座

本校と宇都宮大学教育学部との教育の連携事業として「高大連携科学講座」が、八月二十七(土)と九月三日(土)の二回にわたって開催された。会場は宇都宮大学の峰キャンパスにある、教育学部理科教育の実験室で、英進科の一年生三十七名が参加した。

一回目の講座のテーマは「色」であった。「空が青



実験中の様子

く見えるのはなぜか?」から始まり、「色というのは人間の脳にどのように認識されるのか」にまで話が及んだ。一年生が理解するには少し難しい気もしたが、生徒達は真剣に説明を聴いていた。色がどのように見えるのかを、ひとまず理解した後で生徒実験になった。原理としては、色のついた物質を水に溶かした水溶液では「色が濃くなると、水に溶けている物質の量も多くなる」という関係を基に、光センサーを用いて食紅の水溶液の濃度を調べる実験を行った。

二回目の講座では、各自持参した水(川・湖・池・水道水!)の有機物による汚れを「過マンガン酸カリウム」という物質によって酸化し、その消費量を光セ

ンサーを用いて調べる実験を行った。講座の大半は実験の時間で、生徒達はアシスタントの大学生に質問しながら、とても楽しそうに進めていた。



講座終了後中庭にて

全国高等学校総合体育大会

(千葉きらめき総体)

卓球部 佐々木選手 全国でベスト8に輝く!

平成十七年度全国高校総合体育大会(千葉きらめき総体)は、八月一日(月)に千葉県で開会し、本校からは「卓球部」、「バスケットボール部」、「陸上競技部」の各部が出場した。

卓球部

八月十日(土)から十二日(日)にかけて成田市体育館において行われた。普通科三年一組の佐々木徹選手が準々決勝まで勝ち上がり、見事にベスト8に入賞した。

【シングルス】

▽一回戦

佐々木 3 - 0 和田

(高知・明徳義塾)

大門 3 - 0 山本

(滋賀・膳所)

▽二回戦

佐々木 3 - 0 飯干

(宮崎・宮崎工)

大門 0 - 3 安本

(愛知・愛工大明電)

▽三回戦

佐々木 3 - 1 佐藤

(大阪・上宮)

▽四回戦

佐々木 3 - 1 松竹

(愛知・愛工大明電)

陸上競技部

八月二日(土)に、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場において行われた。残念ながら、予選通過はなかった。

【男子 砲丸投げ】

▽予選 一組

6位 弓田 倫也 15 m 09

国体栃木県代表選手

本校から国民体育大会の栃木県代表として選出された選手は以下の通り。

▽サッカー

高松 享(普通科 三三三)

林 慶之(普通科 三三三)

▽バスケットボール

吉澤 啓貴(英進科 三三三)

松田 崇史(英進科 三三三)

高久 永紀(英進科 三三三)

黒田 昶士(普通科 三三三)

宇津江貴志(普通科 二二二)

▽卓球

佐々木 徹(普通科 三三三)

▽陸上(円盤投げ)

弓田 倫也(普通科 一一二)

(岡山県で開催される本大会には、関東ブロック大会の成績次第で出場することになります)

目指せ春の甲子園 県優勝し関東大会へ

「秋季県高等学校野球大会」

第五十八回秋季県高等学校野球大会の準決勝が、十月一日(土)に県営球場で、決勝が二日(日)に清原球場において行われた。本校硬式野球部は2年ぶり7回目の優勝を果たし、春の選抜高校野球大会を目指して、群馬県で開催される関東大会へ出場することになった。

大詰めの九回裏に同点に追いつかれてしまった。なおも逆転のランナーが二塁、三塁にいたが、藤本投手の踏ん張りて危機を防いだ。十回表は、床井選手のタイムリーヒットで一点が入って勝ち越し、その裏の相手の攻撃を押さえ、優勝を収めた。

(関東大会は十一月三日(木)に神奈川県代表の「東海大相模」高校と対戦します。御声援よろしく願います)

▽準決勝

本校 9X - 2 作新学院

(8回コールド)

▽決勝

本校 3 - 2 真岡工業

(8回コールド)

に、美術部で英進科三年四組の国井壮太君が立体作品(彫刻)を出品し参加した。

全国高校総文祭

(青森大会)

第二十九回全国高等学校総合文化祭青森大会が、七月二十七日(水)から三十一日(日)にかけて、青森県において開催された。

本校からは、八戸市民体育館を会場とした「美術・工芸部門」



出品された作品

県吹奏楽コンクール 銀賞

音楽部



優勝し喜ぶナイン 提供下野新聞社

七月二十八日(金)に、第四十七回県吹奏楽コンクールが宇都宮市文化会館大ホールにおいて行われた。本校音楽部は、宇都宮文星女子高校音楽部と合同で出場した。演奏曲は「コラル・コラージュ」で、数ヶ月におよぶ合同練習の成果を発揮できた熱演であった。審査の結果、銀賞を受賞することができた。今後は、十二月二十三日(金)に県教育会館において公演が予定されている宇都宮文星女子高校と合同の「ジョイントコンサート」に向けて精進していつてもらいたい。

萌 芽 ほっぺが 増刊号

野外体験学習 in日光

中学校では九月二日、三日の二日間、日光にて野外体験学習が行われた。一日目は日光大谷川公園（今市市）でフィールドアスレチックとディスクゴルフを体験した。



普段の学校生活以上に元気にチャレンジし、ゲームの合間や昼食後などは周辺の川原や雑木林で植物や生物の観察も行った。



二日目は、宿々滝尾神社（東照宮までの約2kmの道のりをおよそ一時間かけて散策した。朝からやや強い日差しを受けたこの日は早くも疲れを見せる生徒もいたが、山道に入ると自然と足どりが軽くなり、雑談を交えながら全員無事に踏破することができた。

市街地にある本校に通う生徒にとって、自然と親しむ行事は特に重要であると、今回の行事を通して感じた。

スポーツ フェスティバル （グラウンド）

九月十日、爽やかな秋晴れの中学校グラウンドにてスポーツフェスティバルが開催された。

運動会の意味合いを持つ行事であるが少人数ということもあり、本年度は生徒VS教員・保護者連合チームによるサッカー大会が行われた。



中学校では、夏休みから九月中にかけてさまざまな行事が行われました。その中から主な行事の様子をいくつかご紹介します。



開始早々から『まだまだ子供たちには負けられない』と言わんばかりに教員・保護者連合チームが攻め、前半で0-3とリードを拡げた。

しかし後半は、勝城さん（PTA会長）が生徒チームに加わり、そして、何よりも生徒たちの体力は一向に衰えることもなく攻めまくり、終盤ついに1点をもぎとることができた。

この日、生徒たちは全力を出し切った爽快感を存分に味わうことができたようである。

来年度は、種目を増やすなどより良いフェスティバルにしていきたい。



PTA総会開催

スポーツフェスティバル

同日、中学校PTA総会が開催された。今回はPTA設立総会の意味合いも兼ね、会長をはじめとした役員の方々の紹介や会則ならびに予算案などが承認された。今後、学校と保護者との連携、また保護者間の情報交換の場として機能し、学校をより良い方向へ導くことができる組織となることを期待したい。

《本校PTA係より一言》

この度、中学校PTA係を務めることになりました福田です。PTA担当は初めてですので、何かとご不便をおかけすること存じますが、精一杯頑張りますので宜しくご指導願います。

《PTA役員紹介》

会長 勝城 和久様
副会長 大出 定夫様
会計 鈴木 博美様
横山 加奈様
事務局長 小谷野 幸二
(本校職員)

クラスの旗ができました



七月四日、学級旗が完成しました。早速クラスの友情の証として教室に掲示され、行事にも一緒に参加しました。これからクラスを明るく見守ってくれることを願います。

ガイダンス行事本格始動



本年度、中学校では夏休み中のオープンキャンパスをかわきりに次年度入学希望者へのガイダンス行事が本格化した。七月二十三日、八月七日、二十一日に行われたオープンキャンパスでは合わせて二十七組の参加があり、各ブースや相談コーナーで熱心に説明を聞き入っている保護者の方々の姿を目の当たりにし、中学校選びに対しての強い関心を改めて実感させられた。また九月十七日、最も重要なガイダンスである入試説明会が行われ、塾関係者や一般保護者合計四十五組の参加があった。参加され

た方々は、理事長、校長

の語る本校の教育理念に耳を傾け、プレゼンテーションによるカリキュラムの紹介や実践の様子に真剣な眼差しを向けておられた。その後の個別相談コーナーや校舎見学でも具体的な質問が飛び交い、本校への関心と期待をいっそう強いものにできたと確信している。

十月から五回開催される入試相談会も含めて、本校の真剣な取り組みを一人でも多くの方に知っていただき、来春、本校での充実した学園生活を沢山の生徒が満喫できるよう、スタッフ一丸となって尽力したい。



最近ちよつと 気になること

中学校副教頭 木村 完士

最近、街を歩く度に感じるのだが、まるでキャンパスに絵の具を塗りたくったような厚化粧で何人かで行動をとりにしている女性をみかけることが多くなつた。着ている服装も皆同じで、話し方や口調まで似せようとしているように見える。制服を着た女子高生までもが、化粧をするようになって久しい。「アー、もったいない綺麗なのに…化粧などやめたら。」といったくなる。

若い高校生の誰を見ても、それぞれ個性のある顔立ちで、それぞれの魅力を持っているのに、なぜあんな化粧をするのか、素顔を想像すら出来ない。

冷蔵庫を開けて「アッ〇〇が無い、料理が作れない…」と女房がよくボヤク!! 余りものの材料で、食材の特性を生かして心のこもった、どこにも無い、我が家の料理を作ってしまう創意

工夫がないのだろうか。それぞれ家庭で独自のまごころ料理と味があってこそ美味しいと食べるし、お客さんに「どうぞ食べてください、いっぱい召し上がってください。」と勧められるのではないだろうか。

「个性的であれ」と私自身の主張を振りかざすつもりも無いが、こうして身近に見かける社会現象の一端を見ても、果てはこの家庭内の些細な出来事を取ってみても「没個性」という流れが進んでいるように思われて仕方が無い。特に最近の若者達が、せっかくの優れた個性を厚い化粧で隠してしまうのには「もったいない」という一言に尽きる。

個性の時代と言われているが、他人との比較ではなく本来の意味での自分らしさをもっと大切にすべきではないか。こんな主張自体も、世間並みの没个性的な主張なのかもしれないが…。



平成17年度「雄飛祭」
テーマ「絆」

平成17年11月5日(土)
1
6日(日)
AM9:00~PM2:30
(6日のみ一般公開)

附属中学校
入試相談会

第6回 平成17年11月20日（日）

普通科美術デザインコース
実技体験会

第2回 平成17年11月19日(土)
第3回 平成17年12月3日(土)

附属高等学校
オープンキャンパス

第2回 平成17年11月5日(土)
第3回 平成17年11月6日(日)
第4回 平成17年11月19日(土)

文星芸術大学附属中学校 入学試験日程

第1回 平成17年12月3日(土)
4教科入試・2教科入試・自己推薦入試

第2回 平成18年1月7日(土)
4教科入試・2教科入試・自己推薦入試

第3回 平成18年1月28日(土)
2教科入試・自己推薦入試

第4回 平成18年2月11日(土)
2教科入試・自己推薦入試

文星芸術大学附属高等学校 入学試験日程

前期入学試験

平成18年 1月12日 (木)
スポーツ、文化特待・推薦・一般(3教科)

平成18年 1月13日 (金)
学力特待(5教科)

後期入学試験

平成18年 2月6日 (月)
学力特待(5教科)・一般(3教科)